

第13次労働災害防止計画の状況

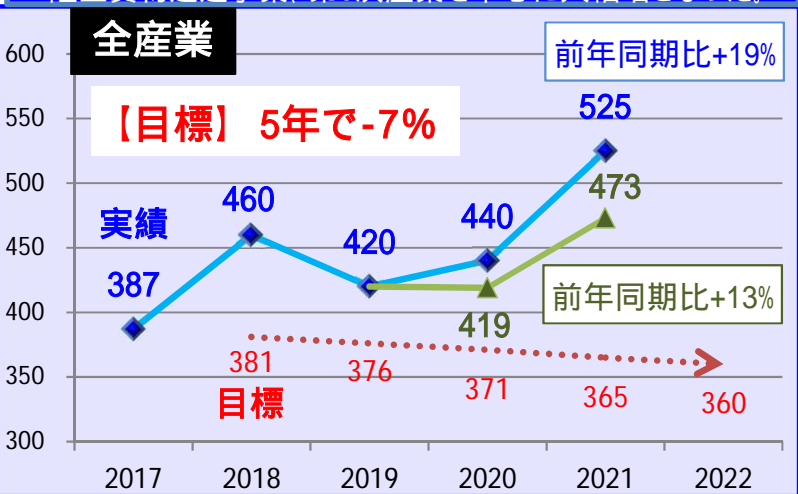
北九州東署 (2021年確定版)

【目標】 13次防期間中の**死亡者総数**を12次防期間中の15%減となる**14人以下**とする。
2022年の**休業4日以上**の死傷者数を2017年の7%減となる**360人以下**とする。

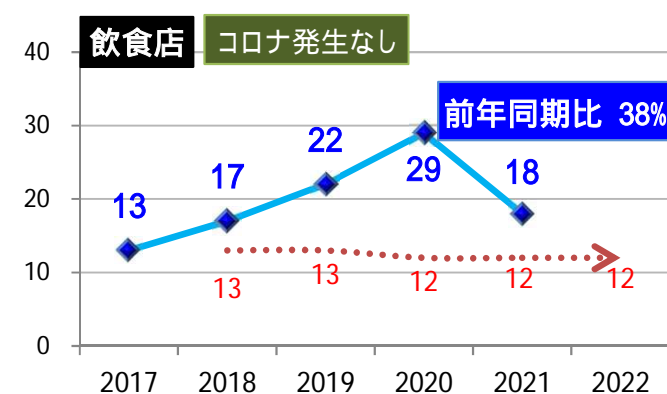
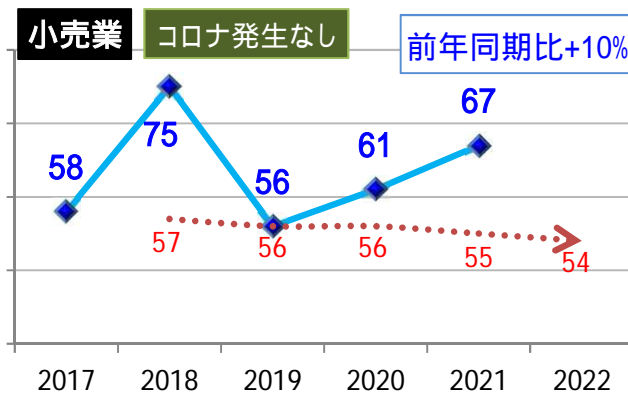
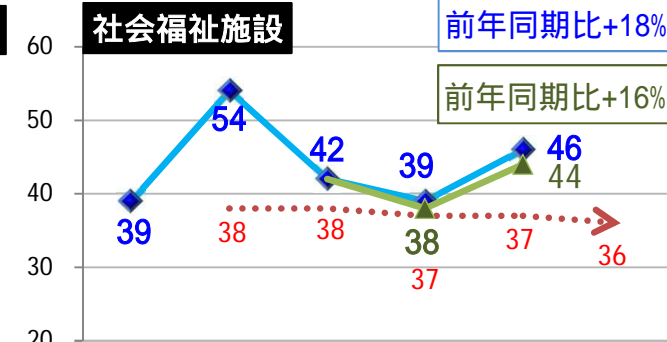
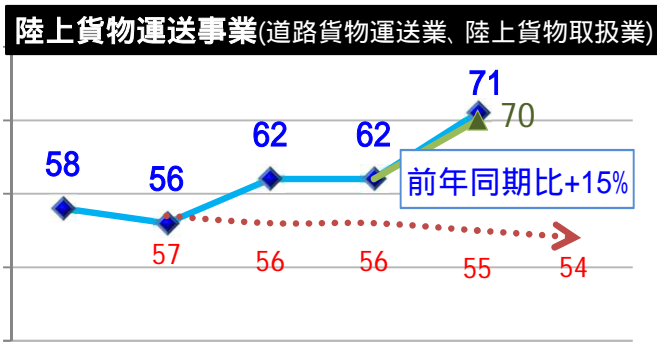
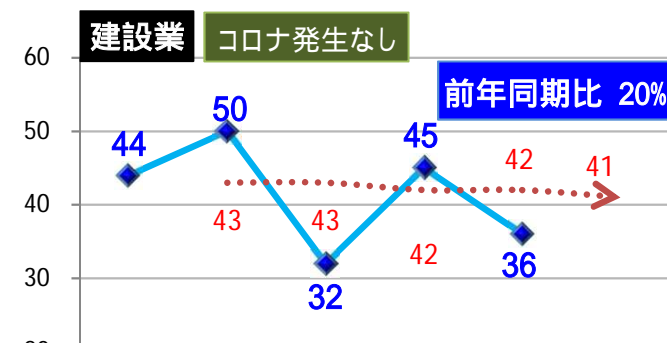
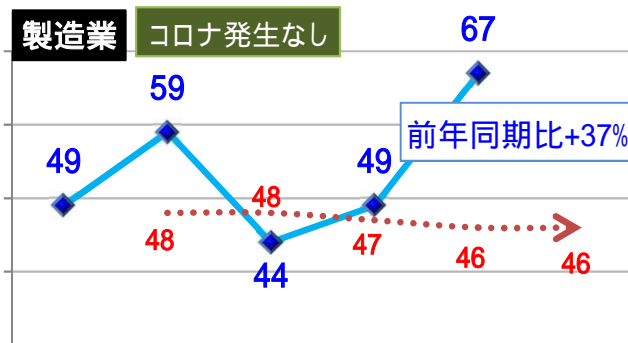
死亡災害 2018～2021の目標値13件に対し、8件発生。内訳：建設業5件、警備業2件、製造業1件。



死傷災害 2021年は前年比+85件(+19.3%)。製造業、陸上貨物運送事業、第3次産業を中心に大幅増となった。



◆ 実績 目標 ▲ コロナ除く



- ・ 重点業種のうち建設業、飲食店は前年比マイナス。
- ・ 新型コロナウイルス関連が前年比+31件。医療保健業、社会福祉施設が71%を占めている。
- ・ 事故の型は、転倒が前年比+25件、激突されが同+18件。